

井原民報

第106号
発行所
日本共産党
井原市議団
井原市井原町103
TEL 62-6200
FAX 62-6209

井原市議会十二月定例会が十二月三日から十四日まで開かれました。この度は七議員が質問。日本共産党の石井敏夫市議は五日に、森本ふみお市議は六日に質問しました。両市議の質問と執行部の答弁の一部を紹介します。

保険証取上げは慎重に

75歳以上の医療で石井市議

石井市議は来年四月から75歳以上の高齢者に大きな負担が掛かってくる後、期高齢者医療制度に独自の措置の実施と、保険料滞納者の保険証取上げの意見を提出し、広域連合に極力提出しないよう求めました。



質問席の石井市議

森本市議は「軽減措置は市独自の持ち出しになるので困難」「保険証取上げについては納付相談の内容を十分審査し、総合的に判定し適正に対応していく」と答えました。そのほか、井原駅か

別の徹底

事業所訪問し お願い

ごみ減量のための提言に

森本市議は「市民に料化に反対の立場で質問しました。森本市議は「市民に新たに徹底した分別をお願いし、協力を得ながら減量を。また、事業所を訪問し分別の徹底をお願いしては」と提言しました。滝本市長は「ごみ減量には家庭ごみの減量も有効な手段の一つ

滝本市長は「軽減措置は市独自の持ち出しになるので困難」「保険証取上げについては納付相談の内容を十分審査し、総合的に判定し適正に対応していく」と答えました。そのほか、井原駅か

また「平日に市役所に行きにくい人たちのため、月に一度でも土、日曜日に市民課を開設しては」との提言に「手続きは代理でも郵送でもできます。三月末と四月初めの日曜日は開庁しているのご利用を」と答えました。

から田中美術館の間に観光用の案内所とトイレの設置を求めました。市長は「井笠地域地場産業振興センターに観光案内所の看板を設置する」と答え、トイレは「この間にある公共施設に看板の設置等について検討したい」と答えました。



質問席の森本市議

だと考えている。今年春と夏に可燃ごみ不燃ごみの中の資源化可能ごみの量を調べた結果、それぞれ約2割程度であった。事業系ごみでもまとまって入っていることもあった。市民にはリサイクルも含めた減量について説明会を含めて徹底したい。市内232の事業所にも(直接)お願い

「このほか、森本市議は耐震診断が必要な公共施設の早期診断を求めたのに対し「利用頻度が高い井原図書館や井原体育館は予算化する。他の施設も順次対応して行きたい」と答えました。また、国が今年度から学校図書室の図書

2007年(平成19年)井原市議会12月定例会での質問議員の項目

川上武徳議員
石井敏夫議員

農業振興策について
後期高齢者医療制度の本市の取り組みについて 月に一度でも土曜日・日曜日に市民課の窓口を開設しては 井原駅から田中美術館の間に案内所を兼ねた休憩所とトイレの設置を



井口勇議員
河合建志議員
森本典夫議員

市所有遊休地の有効活用について
井原市と上海市虹口区との友好親善都市縁組の締結について
ごみの減量はごみ袋の有料化ではなく、徹底した分別の実施で 教育委員会関係の学校施設以外の公共施設及び市長部局関係の公共施設の耐震診断の早期実施を 学校図書室の図書の一層の充実を 美星町内の危険な防火用水槽は、市の責任で対処を 市が取得した地蔵平の土地を、墓地として整備しては 以前の質問の「学校給食費未納問題」と「認定証明書により障害者控除が受けられる制度の周知」について、その後の対応は

佐藤豊議員

空き家・空き農地の活用について 孤独死対策について 休校校舎を活用した農業振興と食育について 福祉のマークの認知度向上について

宮地俊則議員

全国学力テストの結果と今後の井原市の教育のあり方について 「ネットいじめ」問題について 小・中学校の二学期制について 学童保育の充実について 協働のまちづくり事業補助金について

